

笠間市移住
ガイドブック

笠間 移住 計画

Have a
happy life
in Kasama!

かさまのくらし^{イコール}
楽しい!

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

Have a
happy life
in Kasama!

巻頭特集 移住者インタビュー 1

かさまの暮らし イコール =

笠間に住む人たちの一日を覗いてみよう 6

かさまの暮らし。ある日の一日。

名物、名所など、魅力を紹介 8

笠間の

ごゆっくり。 10

移住の手続きや補助制度など 12

笠間に暮らすアレコレ

マップ・アクセス 16

移住者インタビュー

かさまの暮らし イコール =

かさま といえば芸術の街。
笠間焼を中心にギャラリーが多く点在します。

かさま といえば茨城県屈指の観光地。
笠間稲荷神社に美術館、街巡りに最適です。

かさま といえば豊かな自然。
四方を里山に囲まれて五感で四季を感じます。

かさま といえば住み良い街。
交通、教育、暮らしに仕事、なんでも揃うからちょうどいい。

あなたにとっての「かさまの暮らし」とは？

「=」の先に見つけたものは、
それぞれ・さまざま ありました。

家族、仕事、暮らし方 全てがリンクした再出発の場所

4年前に笠間へUターン移住
そのきっかけは？

最初のきっかけは「家族」ですね。まずは子どもが産まれたこと。私は笠間の山の中で育ったので、自分と同じように、子どもたちにも泥んこまみれになって、笑って、自由に遊べる環境を与えてあげたかった。それから親のこと。年を重ねるにつれ、そばに暮らして安心させたいと思っていました。

陶芸家になるということとは、私にとって自然なことだったのかもしれないません。父も陶芸家で、子どものころから当たり前のように父のモノ作りを手伝っていました。当時は何とも思っていないでしたが、今になって陶芸の魅力が少し解ってきた気がします。父はもうほぼ引退していますが、釉薬も天然原料を使うなど、伝統的な手法を大切にしています。そんなクラシックなモノ作りを継いでいきたいという使命感も、どこかにあります。

笠間に暮らして良かったことは？

特に陶芸をやるには、地域の理解もありますし、近所に迷惑をかけずにのびのび作業できる場所に工房を構えることができたのも良かったですね。そうでありながら

もへんびな田舎ではない。少し行けばすぐ街中に出られるので、日々の生活に困らない。学校も病院も近くて、本当に「ちようどいい」と思います。それから都心へのアクセスが良い。これから販路を広げる時にも東京から無理のない日帰り圏内というのは魅力でしょう。また、笠間は焼き物の産地なので陶器市やギャラリーが多

く、陶芸で生計が立てやすい環境といえます。これから陶芸を生業にしていこうという私たちにとって大きな利点ですね。

笠間での「再出発」と「これから」

空家・空地バンクを利用して今の家に暮らして1年。工房を整備したり窯を導入したり、陶芸家として自立するための態勢がようや



かさまのくらし =

Re-start



陶芸家
セレン のあさん
39歳

笠間市出身。東京、神奈川で学生時代、編集者時代を過ごし、陶芸家へ転身。笠間に戻って4年。同じく陶芸家の妻・幸(のぞみ)さんと4歳の長男、2歳の長女、2匹の猫と暮らす。

おすすめ！

空家・空地バンク

空家・空地バンクでは、物件を探すだけでなく、購入やリフォームの補助が受けられます。また、すぐに暮らし始められたことも助かりました。広ーい田舎の民家。暮らしながらカスタマイズしています。



子どもたちの未来につながる

暮らしの基礎を

この笠間でつくりたい

笠間に移住したきっかけは？

移住は子どもたちがきっかけです。東京でマンション暮らしをしているとき、部屋で走り回る子どもたちを叱っていたんです。でも、子どもに「どうして？」と言われると、ちゃんと理由を説明できませんでした。叱っていたのは近所迷惑だからなんですけど。私はアニメーションの仕事に携わっていて、スタジオジブリの影響を沢山受けてます。昔、高畑勲監督が「子どもにとって走ることば生きていく証だ」と表現されていたのを覚えてます。それを超える理由を説明出来なかったんです。そんなことにとストレスを感じ始め、子どもたちがもつとのびのびと成長できる場所を求めて引越を決意しました。茨城には妻の親せきがいて縁もあり、その中でも笠間は東京までのアクセスが良く、芸術性や文化が生活の中で感じられ、移住することを決めました。

笠間に移住して良かったことは？

東京で生活しているとにかくいろんなことが分業されていて、便利なことが多いです。その点、笠間では自分でやらなければならないことが多い。ただ、それがむしろ精神的に良いんですよね。草刈りや薪割りなど、単純作業ではありますが自然を肌で感じられることがとても心地良く、充実感があります。人が生活をする上で大切なことなのだと思います。東京から友達遊びに来たとき「田舎の方が色が多いね」と言われ

たことがあります。都会の方が色が多い気もしたのですが、もしかしら沢山の色が混ざりあってグレイがかってしまっているのかもしれない。笠間の自然は山の緑や土の色が一つ一つ際立っている。草花を間近で見ていると生え方にもちゃんと理由があるのだと新たな発見があり、仕事柄絵を描く際にその記憶が生かされています。

今後の笠間での目標は？

笠間をもっと素敵な街にするために笠間の外、東京や世界へ魅力を発信していきたいです。この地域全体を活性化し、子どもたちにバトンを渡していければと。とは言え、子どもたちには一度家を出て外の世界を見てきて欲しいです。戻ってきたときには「やっぱり笠間って良いよね！」と言ってもらえるような素敵な場所を残してあげたいと思っています。



映像クリエイター
もりした せいじ
森下 征治さん
44歳

岡山県岡山市出身。東京藝術大学を卒業後、映像制作の仕事に携わる。約20年間東京で暮らした後、現在仕事の拠点は東京としたまま、家族で笠間に移住して約1年半となる。

おすすめ！

アクセス良好!都会との距離感が絶妙にいい!



友部駅からJR常磐線を利用すれば1時間10分程度で都心にアクセスできて通勤に便利。ガヤガヤとして人の多い都会から、里山の景色がどんどん広がっていく笠間への帰り道はとても良いスイッチの切り替えになります。



1.里山と家族に囲まれ、自宅でも落ち着いて仕事に取り組める。
2.子どもたちが自由に貼り始めたという絵。のびのびと生活する姿が想像できる。



1.笑いが絶えない仲良し家族。
2.セレンさんの作品。釉薬も地のものを使って作っている。
3.猫たちも仲良ぐのんびり日向ぼっこ。



かさまの暮らし。ある日の一日。

KASAMA LIFE STYLE

CASE 01

森下さんちの場合。

都内通勤
&
子育て世代

平日

水曜日の朝は大人も子どもも大忙し！



征治さんは東京の会社へ、子どもたち3人はそれぞれ笠間市内の小学校と幼稚園へ向かいます。

TO TOKYO

パパは仕事！子どもは勉強と遊びが仕事！



週の半ばは頭の回転も冴えわたる！今日は早めに仕事を切り上げて、家に帰ろう！

夕
EVENING

友部駅から車で帰宅



駅から車で15分ほどで自宅に到着。都会とは全く違う笠間の雰囲気癒されて、みんなの忙しい平日が終わります。

帰って早くて、家まであと一歩！

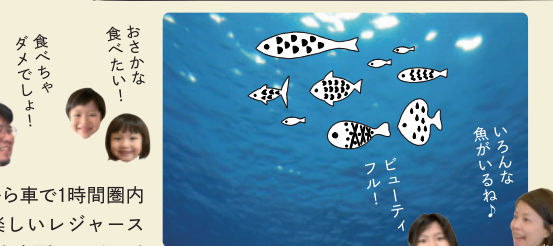
農産物直売所に寄って夕飯のお買い物



笠間の「JA常陸農産物直売所みどりの風」は地元の新鮮野菜が豊富にそろって安心安全。

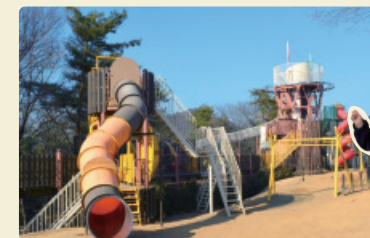
夕飯は何が食べたい？

今日はちょっと車で市外の水族館へ



笠間から車で1時間圏内には楽しいレジャースポットや大型スーパーが盛りだくさん！

近くの公園で外遊びを思いっきり楽しむ



今日は笠間芸術の森公園内にある「あそびの杜」へ。子どもたちは広々とした敷地で走ったり遊具で遊んだり！

休日



CASE 02

三橋さんちの場合。

クラインガルテン
利用者

朝
MORNING

朝採れ野菜を使って
朝ごはん！



朝収穫した野菜を使って朝ごはんにするのが定番。鍋で炊いたお米と一緒にいただきます。



いいニンジンが獲れたね！

農業講習会に参加して勉強



農作物を植える時期や季節ごとにやること、なぜやるのかなどを教わる大事な時間です。

夕
EVENING

一日の終わりは夫婦で
語らいのひととき



ひと息つきながら今日の作業を振り返ったり、明日の天気のことなどを話します。

CASE 03

柳澤さんちの場合。

笠間で楽しむ
セカンドライフ

朝
MORNING

ペットのマメちゃんとのんびり過ごす朝



一緒に“移住”してきたマメルリハのマメちゃんは、大事な家族。マメちゃんとの触れ合いから一日が始まります。

おはよう！

夕
EVENING

素敵なカフェに入れば
夫婦の会話も弾む



笠間にはおしゃれなカフェや美味しいお店がたくさんあるから、二人のお出掛けが楽しくなるね。

ギャラリーロードへ
新しい笠間焼を探しに…



陶器などのギャラリーが軒を連ねるギャラリーロードへ。個性的な作品がズラリ。笠間焼ってやっぱりいいな〜。

Kasama's 笠間の

笠間は、歴史・文化・芸術が暮らしに息づく街。
そんな「笠間の」さまざまな魅力をご紹介します。

祭り

伝統工芸、絶景、奇祭。
年間を通して楽しめる
お祭りやイベントもいろいろ。



笠間の菊まつり かさまのきくまつり
100回以上開催されている日本最古の菊の祭典。笠間稲荷神社をメイン会場に、約1万鉢の菊の花が市内を彩ります。【場所】笠間稲荷神社ほか
【時期】10月中旬～11月下旬



悪態まつり あくたいまつり
参拝者が悪態を浴びせ、お供え物を奪い合い無病息災や家内安全を願う奇祭。【場所】愛宕神社、飯綱神社
【時期】12月第3日曜日



笠間つつじまつり かさまつつじまつり
笠間つつじ公園の小高い山に植えられたつつじが山一面を真っ赤に染める様子は、まさに絶景！【場所】笠間つつじ公園
【時期】4月中旬～5月上旬



かさま新栗まつり かさましんぐりまつり
新栗の試食や、栗菓子の販売、栗拾い体験や栗のゲームなどが催され、家族連れも楽しめます。【場所】笠間芸術の森公園
【時期】9月下旬または10月上旬



笠間の陶炎祭 かさまのひまつり
毎年ゴールデンウィークに開催される大陶器市。約200人の作家や窯元の個性豊かな陶芸作品に出会えます。様々なイベントが開催されるほか、グルメ店も並びます。【場所】笠間芸術の森公園
【時期】4月29日～5月5日

食

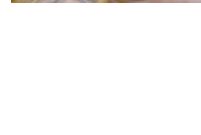
風土が育む自然の恵み。
笠間の魅力に「おいしい！」
は欠かせない。

地酒

じざけ
笠間市には歴史ある4つの酒蔵があります。それぞれの酒蔵が造るおいしい日本酒を味わえます。



笠間市地酒を笠間焼で乾杯する条例
かさましじざけを
かさまやきでかんぱいするじょうれい
笠間の地酒と笠間焼のマイ猪口で乾杯しよう！



笠間市地酒を笠間焼で乾杯する条例
かさましじざけを
かさまやきでかんぱいするじょうれい
笠間の地酒と笠間焼のマイ猪口で乾杯しよう！



かさま歴史交流館井筒屋 かさまれきしこうりゅうかんいづつや
明治中期建築の木造3階建ての歴史ある建物。元々は旅館だった井筒屋が、歴史や観光情報を発信し、人々が交流できる場として生まれ変わりました。【住所】笠間市笠間987

神社

Shrine

笠間市内には、由緒ある神社があります。
厳かな空気の中で、
その歴史を感じられるはず。



笠間稲荷神社

かさまいなりじんじや
日本三大稲荷の一つ。五穀豊穡や商売繁盛の神様として有名です。初詣には多くの参拝客で賑わいます。【住所】笠間市笠間1



笠間稲荷門前通り
かさまいなりもんぜんどおり
稲荷神社前の土産物店や飲食店がズラリと並ぶ石畳の通り。

芸術

Art

「芸術のまち」と称される
笠間市。陶芸家たちも多く住む
焼き物の街で、アートに触れる。



茨城県陶芸美術館

いはらきけんとうげいびじゅつかん
笠間芸術の森公園内にある陶芸専門の美術館。貴重な陶芸作品を常設しているほか、様々な企画展が開催されます。【住所】笠間市笠間2345

笠間日動美術館

かさまにちどうびじゅつかん
近現代における洋画を中心に展示する美術館。3つの展示館があり、中心部には野外彫刻庭園が広がっています。【住所】笠間市笠間978-4



ギャラリーロード

笠間焼を始めとするギャラリーや飲食店が並ぶ通り。



春風萬里荘

しゅんぷうばんりそう
日動美術館の分館で、北鎌倉より移築した藁葺屋根の北大路魯山人旧宅。【住所】笠間市下市町1371-1



笠間焼

かさまやき
国の伝統的工芸品の一つ。自由な気風がその特徴で、作家それぞれにより個性豊かな作品が生まれています。



交流

笠間市内にはキレイで新しい
交流スポットが続々誕生！地元の人たち
との交流が生まれる場です。



笠間市地域交流センターいわま（あたご）
かさましちいきこうりゅうせんたーいわま（あたご）
多目的ホール、健康ふれあいルームなどがあり、地域のコミュニティ活動交流の場として幅広く利用されています。【住所】笠間市下郷4438-7



笠間市地域交流センターともべ (Tomoa)

かさましちいきこうりゅうせんたーともべ（トモア）
地域の情報発信、交流、健康増進を目的とした施設。マルチホール、健康ルーム、市民活動サロン・カフェなどがあります。【住所】笠間市友部駅前1-10

遊び

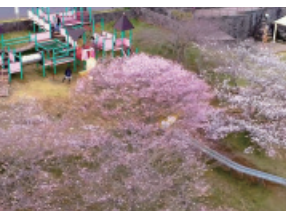
Play

里山に囲まれた豊かな緑の中で、
自然と触れ合いのびのび遊べる
公園が、たくさんあります。



笠間芸術の森公園 あそびの杜

かさまげいじゅつのもりこうえん あそびのもり
広大な笠間芸術の森公園内にあります。巨大ローラーすべり台やふわふわドームなど、子どもが遊ぶ遊具がたくさん！【住所】笠間市笠間2345



あたご天狗の森

あたごてんぐのもり
標高306mの愛宕山に広がる公園。景色もよく、山の起伏を利用した長いローラーすべり台が人気。春には桜の名所となります。【住所】笠間市泉



北山公園

きたやまこうえん
パノラマ展望台やバーベキュー場、ローラーすべり台、オートキャンプ場を併設。園内の池を囲む遊歩道も整備されており、夏には蜩の姿も。【住所】笠間市平町1416-1

日本を代表する建築家 伊東豊雄氏が設計した陶芸家 故・里中英人氏のアトリエ兼住居。日本建築家協会新人賞受賞作品。現在はギャラリー、創作工房、カフェとして開放されています。

ゆっくりと流れる時間の中で
会話が弾む、笑顔が増える
大事なことに、きっと気づける。

笠間にカフェが多いのは
そのせいかもしれない。
ナチュラルだったり
スタイリッシュだったり
古民家だったり
その個性はさまざまだけど
おんなじなのは
「ゆっくり過ごす」を
楽しむということ。

笠間の時間は、ずっと変わらず
のんびり・ゆったり流れていく。
忙しい外の世界はお構いなしに
「ゆっくり過ごす」ということを
許してくれるかのように。

ゆっくり。

笠間で 仕事をする

新たな事業を興す人、笠間焼の陶芸家やものづくり作家を目指す人へ
様々な支援制度を行っています。

創業支援事業

地域経済を活性化させる創業を促進するため、笠間市では、「笠間市創業支援事業計画」を策定し、笠間市商工会等の関係機関と連携しながら、笠間市における創業をお考えの方々を支援します。

笠間市創業支援事業計画とは？ 平成26年1月の産業競争力強化法施行に伴い、笠間市においても地域における創業を促すべく策定した事業計画で平成27年10月2日には国（経済産業省・総務省）の認定を受けました。

● 主な事業内容

ワンストップ相談窓口

笠間市商工課及び笠間市商工会にて、創業に関する相談を受け付けます。

「笠間市創業塾」開催

創業に関する経営・財務・人材育成・販路開拓の知識が学べる講座です。
笠間市における創業予定の方に限らず、興味関心のある人の参加も歓迎します。

● その他のメリット

笠間市創業支援事業計画が国の認定を受けたことにより、笠間市において創業を予定している方、又は創業後間もない（5年以内の）方は、創業・第二創業補助金（中小企業庁による補助金。補助金額は100万円から）や、登録免許税軽減や創業関連保証枠拡充等の優遇策を活用することもできます。

※ただし、活用には審査や条件があります。詳しくはお問い合わせください。

 創業支援について詳しくは、笠間市のHPをご覧くださいませ。

笠間市 創業支援

検索

笠間焼産地後継者育成補助金

国の伝統的工芸品であり、地場産業である笠間焼の担い手を育成し、振興を図ります。

補助事業の種類	対象者	対象経費	補助率【限度額】
生活支援事業	笠間陶芸大学校在籍者	住居の賃借に要する費用	1/4以内【月1万円】
創作活動支援事業	笠間陶芸大学校修了後3年未満の者 旧窯業指導所修了後3年未満の者	窯、ろくろ等設備購入に要する費用	1/2以内【30万円】 ※1回限り
	笠間陶芸大学校在籍者、笠間陶芸大学校修了後5年未満の者、旧窯業指導所修了後5年未満の者	公募展への出品に要する費用	定額【1万5千円】 ※年度につき1回限り
研修支援事業	市内在住の陶芸家	笠間陶芸大学校または旧窯業指導所を修了した者の雇用に要する費用	1/2以内【月5万円】 ※最長3年間
創業支援事業	新規創業者、他地域から転入する陶芸家	窯、ろくろ、土練機等、設備購入に要する費用 工房等の制作施設の修繕に要する費用	1/2以内【50万円】 ※1回限り

茨城県立笠間陶芸大学校

平成28年4月より、「茨城県工業技術センター窯業指導所」は「茨城県立笠間陶芸大学校」に移行し、人材育成により力を注ぐ機関になりました。

 <http://www.kougise.pref.ibaraki.jp/tougeidai/>

ものづくり作家創業支援事業補助金

芸術及び文化の振興による商工業の活性化を図ります。

補助対象者 笠間市内で創業するものづくり作家 ※補助を受ける際には要件がありますので、詳細はお問い合わせください。

ものづくり作家とは 日本標準職業分類に掲げる小分類「221 彫刻家」「222 画家、書家」「223 工芸美術家」のいずれかに該当する者。

補助事業の種類	対象経費	補助率【限度額】
住居または工房の家賃補助	住居または工房の賃借に要する費用（敷金、礼金、共益費及びこれらに類する経費を除く）	1/4以内【月1万円】 ※1年以内
建物または土地付建物購入補助	市内に住居または工房として使用する建物または土地付建物の取得に要する費用	取得費の1/10以内【50万円】 ※各自1回限り
創作施設修繕補助	工房の修繕に要する費用	1/2以内【50万円】 ※各自1回限り
設備購入補助	創作活動に必要な設備の購入に要する費用	1/2以内【30万円】 ※各自1回限り

お問合せ | 笠間市 産業経済部 商工課

☎ 0296-77-1101

笠間に暮らすアレコレ

笠間で 住居を探す

空家を活用した制度や補助で、エコ＆スロウな暮らし。
自分流にリノベーションして、夢も広がる。

移住体験施設「かさちょこHOUSE」



「笠間への移住を考えているけど、実際の生活について不安を感じている」という方に、一定期間滞在し笠間の暮らしを体験できる空家を利用した住居「かさちょこHOUSE」をご用意しています。

観光に訪れただけでは味わうことができない、住んでみたからこそわかる笠間の魅力や生活環境の良さを体験できます。

住所	茨城県笠間市笠間地内	建築年	平成16年	構造	木造平屋建（2DK）	ライフライン	電気、井戸水、合併浄化槽、給湯器
備品	バス、トイレ、キッチン、エアコン、冷蔵庫、炊飯器、レンジ、調理器具（IH）、食器（笠間焼）、掃除機、洗濯機、テレビ、インターネット（Wi-Fi）など						

● 利用するにあたって

対象者	期間	利用料
笠間市外に在住し、笠間市への移住を検討されている方（申請者は20歳以上の方）	4日から4週間	1組につき、1泊2,000円（光熱水費込み） ※このほか、食費や交通費、生活に必要な消耗品等は自己負担となります ※施設内の備品は使用できます

お問合せ | 笠間市 市長公室 企画政策課 ☎ 0296-77-1101

笠間市「空家・空地バンク」制度

市内の空家及び空地の有効活用を通して、良好な住環境の確保や定住及び定期的な滞在の促進による地域の活性化を図るとともに、生活環境の保全を推進するため、「空家・空地バンク制度」を実施しています。

空家・空地バンクとは？ 売却や賃貸を希望する所有者から申し込みを受けた市内の空家・空地情報を登録し、利用希望者（笠間市に定住または定期的な滞在を目的として、笠間市空家・空地バンクに登録された空家・空地の利用を希望する方）に情報提供をする制度です。

※物件の売買、賃貸借に関する交渉や契約等の仲介は宅地建物取引業者等に依頼するため、市は関与致しませんので、あらかじめご了承ください。

● 申込方法

「笠間市空家・空地バンク利用登録申込書（様式第8号）」、「誓約書（様式第9号）」に必要事項を記入のうえ、都市計画課へ提出してください。
※申込書は窓口設置のほか、笠間市HPからもダウンロードできます。

 現在の空家・空地バンク物件情報は、笠間市のHPをご覧くださいませ。

笠間市 空家・空地バンク

検索

笠間市空家活用支援補助金について（空家のみ）

空家・空地バンクの利用促進を目的とし、空家・空地バンクに登録されている空家を修繕する方及び空家を取得または賃借する方に対し、予算の範囲内において、笠間市空家活用支援補助金を交付します。

補助金の種類	対象者	対象経費	補助率【限度額】
空家の修繕に関する補助金	●空家・空地バンク登録物件の個人所有者 ●空家・空地バンク登録物件に入居する方（住民登録をすること）	住宅の機能や性能を維持または向上させるために、登録物件の一部を修繕、補修、取替え等を行う費用	修繕費用の2分の1以内【50万円】
空家の利用に関する補助金	笠間市空家・空地バンク登録物件を取得または賃借した方 ※物件に5年以上居住すること	笠間市空家・空地バンク登録物件の取得または賃借に要する費用	取得の場合 取得対価の3％以内【30万円】
			賃借の場合 家賃2か月分に相当する額【10万円】

※補助を受ける際には上記以外に要件がありますので、詳細についてはお問い合わせください。

お問合せ | 笠間市 都市建設部 都市計画課 空家政策推進室

☎ 0296-77-1101

笠間で子育てを楽しむ 子育てを家族を応援！親子で参加して、仲間と一緒に楽しもう。

笠間市子育て世代包括支援センター「みらい」



子育てをはじめる方のための総合案内窓口として、妊娠、出産、子育ての相談に応じたり、必要なサービスを紹介します。また、妊産婦さんの集える場もつくりました。まずはお電話ください。

妊娠が分かったら、できるだけ早く産科医療機関を受診し、保健センターで母子健康手帳の交付を受けましょう。

必ず定期的に受診して、赤ちゃんの元気な様子を確認しましょう。

妊娠中や産後のマタニティブルー時も、気軽にご相談ください。



● ご相談 笠間市子育て世代包括支援センター「みらい」（地域医療センターかさま内） ☎ 0296-78-3155

子育て支援センター「みつばち」「かんがるー」「くりのこ」 対象：未就学児と保護者

子育ての不安を緩和し、子どもの健やかな育ちを応援するため、気軽に集まり、交流を図る場を提供します。育児情報の提供、子育て相談、育児講座の実施、子育てサークルの支援等を行います。

 子育て支援センター「みつばち」	 子育て支援センター「かんがるー」	 子育て支援センター「くりのこ」
曜日 月曜～金曜	曜日 月曜～金曜	曜日 月曜・水曜・木曜・金曜
時間 10時～12時／13時～16時	時間 9時～12時／13時～16時	時間 10時～12時／13時～16時
休み 祝日・お盆・年末年始	休み 年末年始	休み 祝日・お盆・年末年始
場所 かさまこども園	場所 笠間市児童館「笠間キッズ館」	場所 市民センターいわま1F
お問合せ かさまこども園 ☎ 0296-71-5858	お問合せ 笠間キッズ館 ☎ 0296-77-8340	お問合せ 子ども福祉課 ☎ 0296-77-1101

笠間市児童館「笠間キッズ館」 対象：0歳～18歳（未就学児は保護者同伴）

児童の健全育成や子育て支援のための施設です。自由に利用でき、年間を通して楽しいイベントも開催。子育てに不安を持つ保護者の相談にも応じています。

開館日 毎日	開館時間 9時～18時	休み 年末年始	所在地 笠間市南友部1966-140
● お申込み・お問合せ 笠間キッズ館 ☎ http://kasamacity-kidskan.com/ ☎ 0296-77-8340			

お問合せ | 笠間市 保健福祉部 子ども福祉課 ☎ 0296-77-1101

笠間で教育を考える 明日を担う笠間の子どもたちのために、様々な教育事業に取り組んでいます。

英語教育強化推進事業

小・中・義務教育学校へALT（外国語指導助手）を配置し、夏季英語集中プログラム、サマーイングリッシュフェスティバルを開催しています。また、小学5・6年生と中学生に対して英語検定受験料の一部助成など、小・中・義務教育学校の英語教育環境の充実を図っています。

算数・数学学力向上支援事業

小・中・義務教育学校を対象に、算数・数学の学力向上を目的として支援員を配置します。児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導で、学力向上を支援します。

お問合せ | 笠間市 教育委員会 学務課／生涯学習課 ☎ 0296-77-1101

寺子屋事業

小学校5・6年生を対象に、学びの機会を提供します。学校休業日に国語・算数・ALTによる英語の授業を行い、学ぶ楽しさの体感を通じて習慣化し、学力と学習意欲の向上を目指します。

笠間で農業を始める 地域農業の担い手として、認定新規就農者の育成を図っています。

農業担い手育成支援

後継者や新しく農業を始める方のために、農業技術・経営の支援や農業・農村の実情、各種事業等の情報提供など、様々な支援を行っています。

補助事業の種類	対象者 ※いずれも就農時の年齢が45歳未満で認定新規就農者または認定を受ける見込みのある者	助成金【限度額】
樹園地継承支援事業	果樹農家を目指した研修受講者	年間120万円 ※最長2年間
担い手対策強化促進事業（長期研修助成）	就農予定で研修する農家後継者	月額5万円 ※最長2年間
新規就農者農業機械・農業施設等導入支援事業	認定新規就農者	事業費の1/2以内 【300万円】

笠間クライנגアルテン



おしゃれなロッジの宿泊施設付き市民農園で農業体験。利用者を対象とした農機具の貸出しや農業講習も行っています。二地域居住の「週末農家」を楽しめます。

全50区画（1区画300㎡）

● 利用料 年間約41万円/1区画 ● 利用期間 1年間（最長5年間更新可）

お問合せ | 笠間市 産業経済部 農政課 ☎ 0296-77-1101

笠間で健康に生きる 医療や福祉、健康設備も充実した笠間市。健康で安心な生活をサポートします。

かさまヘルスロード

笠間市内には、いばらきヘルスロードに指定された11のコースがあります。誰もが気軽に安全に歩ける魅力ある楽しいウォーキングコースで、日頃は気がつかない笠間の自然や歴史を感じることができるはず。健康づくりやリフレッシュなど、目的に合わせて歩こう♪ ※かさまヘルスロードマップは、笠間市役所本所、各支所、保健センターで配布しています。

緊急医療

救急の患者さんに対して、日曜・平日夜間も診療が受けられるよう初期救急体制があります。

月曜日～金曜日（祝日・12/31～1/3を除く） 19時～21時 笠間市立病院	日曜日（12/30～1/3を除く） 9時～17時 笠間市立病院	祝日・年末年始（12/30～1/3） 9時～17時 市内当番医療機関
---	---	--

※受付前には電話確認をお願いします。 ※当番医療機関は変更になることもありますので、電話で確認してください。

急な病気で心配なとき・医療機関をお探しのとき	県内の医療機関に関する情報				
24時間対応 <table border="1"> <tr> <td>茨城おとな救急電話相談</td><td>プッシュ回線 #7119 または ☎03-5367-2365</td></tr> <tr> <td>茨城子ども救急電話相談</td><td>プッシュ回線 #8000 または ☎03-5367-2367</td></tr> </table>	茨城おとな救急電話相談	プッシュ回線 #7119 または ☎03-5367-2365	茨城子ども救急電話相談	プッシュ回線 #8000 または ☎03-5367-2367	茨城県救急医療情報システム ☎ https://www.qq.pref.ibaraki.jp/
茨城おとな救急電話相談	プッシュ回線 #7119 または ☎03-5367-2365				
茨城子ども救急電話相談	プッシュ回線 #8000 または ☎03-5367-2367				

お問合せ | 笠間市 保健福祉部 健康増進課 ☎ 0296-77-9145

地域医療センターかさま



地域医療センターかさまは、笠間市立病院、健康増進課（保健センター・子育て世代包括支援センター）、地域包括支援センターが一緒になった施設として、平成30年4月にオープンしました。医療・保健・福祉が連携し、みんなの相談室（メディカルCafe）やファミリー健康体験（キッズドクター・キッズナース）、講演会等のさまざまな事業を実施しています。また、病院内に病児保育室を併設しています。

お問合せ | 笠間市立病院 ☎ 0296-77-0034

笠間市の **子育て** や **教育** については「かさまぽけっと」HPでご覧いただけます。 ☎ http://www.kasama-pocket.jp/



アクセス

空路から、陸路からアクセスしやすく便利です！

茨城空港運航便

国内線

札幌 神戸 福岡 那覇

国際線

上海 台北 ソウル

旅行も
しやすい♪



茨城空港までのアクセスも良いので、国内旅行も、海外旅行も身近に。

笠間 から 茨城空港 まで

バス + 電車

水戸駅経由

友部駅 -- 常磐線 --> 水戸駅 -- 連絡バス --> 茨城空港 約1時間

羽鳥駅経由

友部駅 -- 常磐線 --> 羽鳥駅 -- 連絡バス --> 茨城空港 約1時間

車

北関東自動車道 友部ICから 約30分



笠間 から 東京 まで

高速バス

関東やきものライナー

平日は1日6便、土日祝は1日7便運行

笠間市内から秋葉原 約1時間50分

笠間市内の停留所
・笠間ショッピングセンター
・笠間駅前
・笠間稲荷神社入口
・やきもの通り
・笠間手越

電車

特急「ときわ」号

友部 <--> 上野・東京・品川

品川まで 約1時間30分

東京まで 約1時間10分

上野まで 約1時間

車

北関東自動車道・常磐自動車道

友部ICから東京 約1時間30分

都心への
通勤可能！



友部駅は特急も停車するので、日々の生活で都心への往来も可能です。

笠間市内マップ

市内は観光名所だけでなく、
公共施設や公園なども充実しています。

人口 74,879人 (H31.2.1現在)

面積 240.4km²

かさま観光周遊バスのご案内

友部駅を出発し、笠間工芸の丘、茨城県陶芸美術館、笠間日動美術館、笠間稲荷神社、春風萬里荘など笠間の主要観光施設を巡り、友部駅へ戻る周遊バスです。まずは周遊バスで笠間をぐるっと一周してみたいはいかがでしょうか？

所要時間 50分 運賃 1回の乗車…100円 / 1日フリー乗車券…200円

詳しくは笠間観光協会のかさま観光周遊バスのページをご覧ください。 http://www.kasama-kankou.jp/kasama_bus/



マップ・アクセス

都心からの
アクセス良好。
住みやすいまち、
笠間。

